

## 1. ICT 活用工事

### 1-1 概要

ICT 活用工事とは、施工プロセスの全ての段階において、以下に示す ICT 施工技術を全面的に活用する工事である。

### 1-2 ICT 活用工事における作業土工(床掘)

次の①②③⑤の全ての段階で ICT 施工技術を活用することを ICT 活用工事における作業土工(床掘)とする。また「ICT 作業土工(床掘)」という略称を用いることがある。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT 建設機械による施工
- ④ 該当なし
- ⑤ 3次元データの納品

ICT 作業土工(床掘)は ICT 活用工事(土工)の関連施工工種として実施することとする。

### 1-3 ICT 施工技術の具体的内容

ICT 施工技術の具体的内容については、次の①～⑤および表－1によるものとする。

#### ① 3次元起工測量

起工測量において、3次元測量データを取得するため、下記1)～8)から選択(複数以上可)して測量を行うものとする。

ただし、ICT 土工等の起工測量データ等を活用することができる。

- 1) 空中写真測量(無人航空機)を用いた起工測量
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) TS等光波方式を用いた起工測量
- 4) TS(ノンプリズム方式)を用いた起工測量
- 5) RTK-GNSSを用いた起工測量
- 6) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 7) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 8) その他の3次元計測技術を用いた起工測量

#### ② 3次元設計データ作成

1-3①で計測した測量データと、発注者が貸与する発注図データを用いて、作業土工(床掘)を行うための3次元設計データを作成する。

#### ③ ICT 建設機械による施工

1-3②で作成した3次元設計データを用い、下記1)に示す ICT 建設機械を作業に応じて選択して施工を実施する。

- 1) 3次元MCまたは3次元MG建設機械

※MC:「マシンコントロール」の略称、MG:「マシンガイダンス」の略称

#### ④ 3次元出来形管理等の施工管理

作業土工(床掘)においては該当無し

#### ⑤ 3次元データの納品

1-3③による3次元設計データを納品する。

《表－1 ICT 活用工事と適用工種（その1）》

段階	技術名	対象作業	建設機械	適用		監督・検査 施工管理	備考
				新設	修繕		
3次元起工測量/ 3次元出来形管理 等施工管理	空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量	測量	-	○	○	①、②、③ ④	土工
	地上レーザースキャナーを用いた起工測量	測量	-	○	○	①、⑤	土工
	TS等光波方式を用いた起工測量	測量	-	○	○	①	土工
	TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量	測量	-	○	○	①	土工
	RTK-GNSSを用いた起工測量	測量	-	○	○	①	土工
	無人航空機搭載レーザースキャナーを用いた起工測量	測量	-	○	○	①、②、③	土工
	地上移動体搭載レーザースキャナーを用いた起工測量	測量	-	○	○	①	土工
ICT建設機械 による施工	3次元マシンコントロール技術 3次元マシンガイダンス技術	床掘	ICT 建設機械	○	○	-	

【凡例】 ○：適用可能 -：適用外

《表－1 ICT 活用工事と適用工種（その2）》

【関連要領等一覧】	
①	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）土工編
②	無人飛行機の飛行に関する許可・承認の審査要領
③	公共測量におけるUAVの使用に関する安全基準－国土地理院
④	UAVを用いた公共測量マニュアル（案）－国土地理院
⑤	地上レーザースキャナーを用いた公共測量マニュアル（案）－国土地理院

1－4 ICT 活用工事の対象工種

ICT 活用工事の対象工種は、ICT 活用工事（土工）とする。

2. ICT 活用工事の実施方法

ICT 活用工事（土工）における関連施工種とするため、ICT 作業土工（床掘）単独での発注は行わない。

3. ICT 活用工事の実施推進のための措置

ICT 活用工事（土工）における関連施工種とするため、ICT 活用工事実施要領（土工）による。

4. ICT 活用工事の導入における留意点

受注者が円滑に ICT 活用施工を導入し、ICT 施工技術を活用できる環境整備として、以下を実施するものとする。

4－1 施工管理、監督・検査の対応

ICT 活用施工を実施するにあたって、国土交通省が定める施工管理要領、監督検査要領（表－1 【要領一覧】）に則り、監督・検査を実施するものとする。

監督職員および検査職員は、活用効果に関する調査等のために別途費用を計上して二重管理を実施する場合を除いて、受注者に従来手法との二重管理を求めない。

#### 4－2 3次元設計データ等の貸与

(1) ICT 活用工事に必要な3次元設計データを作成していない場合は、従来基準による2次元の設計データにより発注することになるが、この場合、発注者は契約後の施工協議において「3次元起工測量」および「3次元設計データ作成」を受注者に指示し、これに係る経費を工事費にて当該工事に変更計上するものとする。

(2) 発注者は、詳細設計において、ICT 活用施工に必要な3次元設計データを作成した場合は、受注者に貸与するほか、ICT 活用施工を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、積極的に受注者に貸与するものとする。

なお、貸与する3次元設計データに3次元測量データ（グラウンドデータ）を含まない場合、発注者は契約後の施工協議において「3次元起工測量」および「貸与する3次元設計データと3次元起工測量データの合成」を受注者に指示し、これに係る経費は工事費にて当該工事に変更計上するものとする。

#### 4－3 工事費の積算

##### (1) 受注者希望型

発注者は、発注に際して土木工事標準積算基準（従来基準）に基づく積算を行い、発注するものとするが、契約後の協議において受注者からの提案により ICT 活用工事を実施する場合、滋賀県土木交通部が定める「土木工事標準積算基準書・土木工事標準積算基準書（参考資料）」および別紙－4「ICT 活用工事積算要領（作業土工(床掘)）」（施工幅2m未満の床掘については別紙－6「ICT 活用工事積算要領（小規模土工）」）に基づき積算し、落札率を乗じた価格により契約変更を行うものとする。

なお、ICT 活用について協議を行う際には、①～④にかかるそれぞれの数量および対象範囲を明示するものとする。

また、現行基準による2次元の設計ストック等により ICT 活用工事を発注する場合、受注者に3次元起工測量および3次元設計データ作成を指示するとともに、3次元起工測量経費および3次元設計データ作成経費についての見積り提出を求め、落札率を乗じた価格により契約変更を行うものとする。

#### 4－4 現場見学会・講習会の実施

ICT 活用工事（土工）における関連施工種とするため、一体として実施することとし、ICT 活用工事実施要領（土工）による。

#### 4－5 アンケートへの協力

ICT 活用工事（土工）における関連施工種とするため、一体として実施することとし、ICT 活用工事実施要領（土工）による。

### 5. その他

本要領に定めのない事項については、受発注者間において協議の上、運用することとする。

【参考】ICT 活用工事の発注から工事完成までの基本的な手続きおよび流れ

